

作成日 2023/06/07
改訂日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

製品名 撥水シャンプー20倍希釈
会社名 株式会社MonotaRO
所在地 〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
FAX番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ
推奨用途 自動車ボディおよび外装の洗浄及びコーティング
整理番号 M230620

2. 危険有害性の要約 化学品のGHS分類

健康有害性 皮膚腐食性／刺激性 区分2
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分1
環境有害性 水生環境有害性 短期(急性) 区分2
上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険
危険有害性情報 H315 皮膚刺激
H318 重篤な眼の損傷
H401 水生生物に毒性

注意書き
安全対策 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
環境への放出を避けること。(P273)
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

応急措置 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
(P302+P352)
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
(P305+P351+P338)

皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。(P332+P313)
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。(P362+P364)

廃棄 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
アルキルベタイン	4.4%	不明	(2)-1291,(2)-2709	—	683-10-3
両性界面活性剤	非公開	不明	非公開	—	非公開

非イオン界面活性剤	非公開	不明	非公開	—	非公開
陽イオン界面活性剤	非公開	不明	非公開	—	非公開
シリコーンオイル	非公開	不明	非公開	—	非公開
シリコーンレジン	非公開	不明	非公開	—	非公開
グリコールエーテル	非公開	不明	非公開	—	非公開
有機酸	1.0%未満	不明	非公開	—	非公開
安定化剤	1.0%未満	不明	非公開	—	非公開
pH調整剤	0.1%未満	不明	非公開	—	非公開
防腐剤	0.1%未満	不明	非公開	—	非公開
水	残部	H2O	—	—	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合

使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに作業を中止し、速やかに通気の良い場所で安静にすること。気分が回復しない場合は医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに石鹼を使用してよく洗い落とすこと。異常がある場合は医師の診断を受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。

眼に入った場合

眼を擦らず直ちに清浄な水で15分間以上眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外して洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまでよく洗浄すること。

飲み込んだ場合

水で口の中をよくすすぎ、無理に吐かせないでコップ1-2杯の水または牛乳を飲ませるなどの処置をすること。気分が悪いときは医師の診断を受けること。

5. 火災時の措置

消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤

情報なし

特有の危険有害性

情報なし

特有の消火方法

火元への燃焼源を絶ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。

消火を行う者の保護

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には保護具(保護眼鏡、保護手袋、保護マスク)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。こぼれた場合はすべりやすいため注意する。多量の場合、人を安全に退避させる。

環境に対する注意事項
 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
 漏出物を直接に河川や下水に流してはいけない。

除去方法
 少量の場合は、吸着剤(おがくず・土・砂・ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。
 大量の場合には、盛土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。
 漏出したものをすくいとり、または掃き集めて紙袋またはドラム等に回収する。
 回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。

7. 取扱い及び保管上の注意
 取扱い

技術的対策
 取扱いは換気のよい場所で行うこと。
 発散した蒸気を吸い込まないようにすること。
 取扱いの都度、容器を密閉すること。
 眼、皮膚、衣類に付けないこと。
 ゴム手袋を着用すること。
 取扱い後はよく手を洗うこと。

注意事項
 みだりにエアロゾルが発生しないように取扱う。

安全取扱い
 注意事項
 容器を転倒、落下させ、衝撃を与え、又は引きずる等の乱暴な取扱いをしてはならない。

保管

安全な保管条件
 直射日光を避け、換気のよい場所で容器を密閉し保管すること。
 酸化剤並びに酸化性の強い物質との保管は避ける。
 冬期は凍結を避けるため、0℃以下にならない場所で保管すること。

安全な容器
 包装材料
 開栓した容器で再び保管する時は、密栓をよく確かめること。
 他の容器に移し替えて保管しないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
アルキルベタイン	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

設備対策
 取り扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸器の保護具
 必要に応じて保護マスクを使用する。

手の保護具
 ゴム製保護手袋を使用する。

眼の保護具
 保護眼鏡(側板付き又はゴーグル型)を使用する。

皮膚及び身体の
 保護具
 必要に応じて保護衣を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	淡黄色 ~ 黄色半透明
臭い	わずかに特異臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点 範囲	データなし
可燃性	不燃性
爆発下限界及び爆発上限 下限	データなし
界／可燃限界	
	上限
引火点	データなし
自然発火点	引火せず
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	6.6(代表値)
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配 係数	水と任意の割合で混合する。 該当しない
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.01(代表値)
相対ガス密度	データなし
粒子特性	該当しない

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	通常の条件では安定。
危険有害反応可能性	強酸化剤との接触を避ける。
避けるべき条件	現在のところ有用な情報なし。
混触危険物質	ハロゲン類、強酸類、アルカリ類、酸化性物質と接触 しないよう注意する。
危険有害な分解生成物	現在のところ有用な情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	急性毒性推定値が ⁶ 6597.6503842mg/kgのため区分に 該当しないとした。
	経皮	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた め、区分に該当しないから分類できないに変更。 急性毒性推定値が ¹¹ 12971.0526316mg/kgのため区分 に該当しないとした。
	吸入	毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた め、区分に該当しないから分類できないに変更。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) 急性毒性推定値が ⁵ 50000ppm超のため区分に該当し ないとした。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた め、区分に該当しないから分類できないに変更。 (粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が ¹² 12.5mg/l超のため区分に該当しな いとした。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているた め、区分に該当しないから分類できないに変更。 10×(区分1+1A+1B+1C)の成分合計が45.6%のため、 区分2とした。 眼区分1の成分合計が4.78%のため、区分1とした。

呼吸器感受性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚感受性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖細胞変異原性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生殖毒性	(生殖毒性) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (生殖毒性・授乳影響) 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	※区分2(消化管)は4.4%含まれる。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 ※区分2(腎臓)は4.4%含まれる。 ※区分2(膀胱)は4.4%含まれる。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないとした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	(毒性乗率 × 10 × 区分1) + 区分2の成分合計が44%のため、区分2とした。
水生環境有害性 長期(慢性)	(毒性乗率 × 100 × 区分1) + (10 × 区分2) + 区分3の成分合計が4.4%のため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性	データなし
残留性・分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壌中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	内容物や容器を廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
-------	--

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連分類

国連勧告の定義上の危険物に該当しない。

国連番号

該当しない

品名(国連輸送名)

該当しない

容器等級

該当しない

国内規制

陸上輸送

消防法・労働安全衛生法・毒劇物取締法に該当する場合は、それぞれ定められた輸送方法に従う。

海上輸送

船舶安全法に定められた輸送方法に従う。

航空輸送

航空法に定められた輸送方法に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に進行。直射日光・高温多湿・氷点下での保管を避ける。

緊急時応急措置指針番号

該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法
毒物及び劇物取締法
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当

非該当

第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)

2-(N-ドデシル-N,N-ジメチルアンモニオ)アセタート(管理番号:681)(4.4%)

化審法
消防法
海洋汚染防止法

優先評価化学物質(法第2条第5項)

非危険物

有害でない物質(施行令別表第1の2)

有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)

有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)

外国為替及び外国貿易法
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)
化学兵器禁止法

輸出貿易管理令別表第1の16の項

特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

有機化学物質(法第29条1、施行令第4条1)

16. その他の情報

参考文献

製造元メーカー提供資料

NITE GHS分類結果一覧

JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法

JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報

の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム

「ezSDS」により作成。

その他

危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意して下さい。